

高い自治体を目指すとともに、広域的な行政課題に的確に対応していかなければなりません。

皆様方は、昨年4月に合併協議会を設置し、お互いの立場を尊重しながら住民の将来のために真剣に議論を重ねられ、本日ここに調印式を迎えられたものでございます。誠に意義深いことであると思います。

1市2町は燧灘に面する海岸や伊吹島、県下有数の農業生産を誇る田園地帯、河川やため池、緑豊かな讃岐山脈など、自然環境に恵まれ、「銭形」「豊稔池」や「ちょうさ」など、豊かな文化と伝統を有しておられます。こうした地域の特性を生かし、「海・山・川そして人が織りなす『新・田園都市』」を基本理念に、「豊かさと安らぎがあふれる協働の町」を目指して、新しいまちづくりが進められることになっております。

本年10月11日に誕生する新しい「観音寺市」が、魅力あふれる本県の西の玄関都市として大きく飛躍、発展していくことを期待しております。どうか皆様方には合併してよかったと思えるようなまちづくりに、引き続きご尽力いただきたいと思います。そして、今後1市2町の議会と県議会の議決、国の告示など手続を経て、めでたく合併の日を迎えられますことを心から念願いたしております。県では、新しいまちづくりが円滑に進められるよう県独自の合併支援プランに沿って、全力を挙げて支援してまいります。

それでは、新しく誕生する「観音寺市」のご発展と本日お集まりの皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍を心からお祈りしてお祝いの言葉といたします。平成17年1月27日。香川県知事真鍋武紀。本日は誠におめでとうございます。

司会 ありがとうございます。

続きまして、ご臨席賜っておりますご来賓の皆様からご祝辞を賜りたいと存じます。

香川県議会議長増田稔様。よろしくお願いをいたします。

増田県議会議長 祝辞。本日の佳き日、観音寺市、大野原町、豊浜町の1市2町によります合併協定の調印が執り行われましたことを誠におめでとうございます。香川県議会を代表して心からお喜びを申し上げます。

地域住民の意思に基づきながら、相互の信頼と尊重の精神を堅持し、さまざまなハードルを乗り越えて本日の調印に漕ぎ着けられました関係者の皆さん方の並々な熱意とご努力に対しまして、衷心より敬意を表する次第であります。

本年は、戦後60年、さまざまな歴史的出来事の節目の年に当たりますが、それぞれの市・町におかれましても、ともに現在の市・町の形となって50周年という節目の年に当

たり、本日の新たな門出に向け、大きな一歩を踏み出されたことは、まことに意義深いものがあります。

地方の自立をうたった地方分権一括法が施行されて間もなく5年がたちますが、この間福祉や教育を含め、住民参加で独自のまちづくりに取り組む動きも全国的に広がっており、本年は分権型社会の実現に向けて、新たな飛躍の年にしていくとの期待が高まっております。このようなときに当たり、三豊地区の中核であります観音寺市と大野原町、豊浜町の1市2町が合併し、穏やかな瀬戸の海と緑豊かな阿讃の山並みに囲まれ、活力あふる新たな田園都市が誕生しますことは、誠に心強い限りであります。

県議会といたしましては、合併の促進に向け最大限の努力を傾注してまいり所存であります。関係者の皆さん方におかれましては、地方の自治度が自由度が拡大し、地方自治体の手腕が問われます折、理想とする地域像の創出に一層のご尽力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

皆さん方のご努力と住民の方々のご協力が実りまして、秋には本県の新たな西の玄関都市が誕生しますことを心からご期待を申し上げますとともに、ご参列の皆さん方のご健勝とご多幸を心から祈念を申し上げまして、お祝いの言葉といたします。平成17年1月27日。香川県議会議長増田稔。おめでとうございます。

司会 ありがとうございます。

本日の合併協定調印式には、ご祝辞を賜りましたご来賓の皆様ほか多くの皆様にご来賓としてご臨席をいただいております。本来ならばご来賓の皆様方お一人ずつご祝辞を賜りたいところでございますが、お許しをいただきまして、お名前のみのご紹介とさせていただきます。

〔 来 賓 紹 介 〕

司会 衆議院議員森田一様でございます。

森田衆議院議員 おめでとうございます。

司会 国務大臣防衛庁長官衆議院議員大野功統様でございます。

大野衆議院議員 おめでとうございます。

司会 参議院議員真鍋賢二様でございます。

真鍋参議院議員 おめでとうございます。

司会 参議院議員山内俊夫様でございます。

山内参議院議員 おめでとうございます。